

# 沖縄八重山日報

THE YAEMAMA NIPPO

第14312号 一統合版一

令和二年(2020年)

1月15日水曜日

旧12月21日・友引

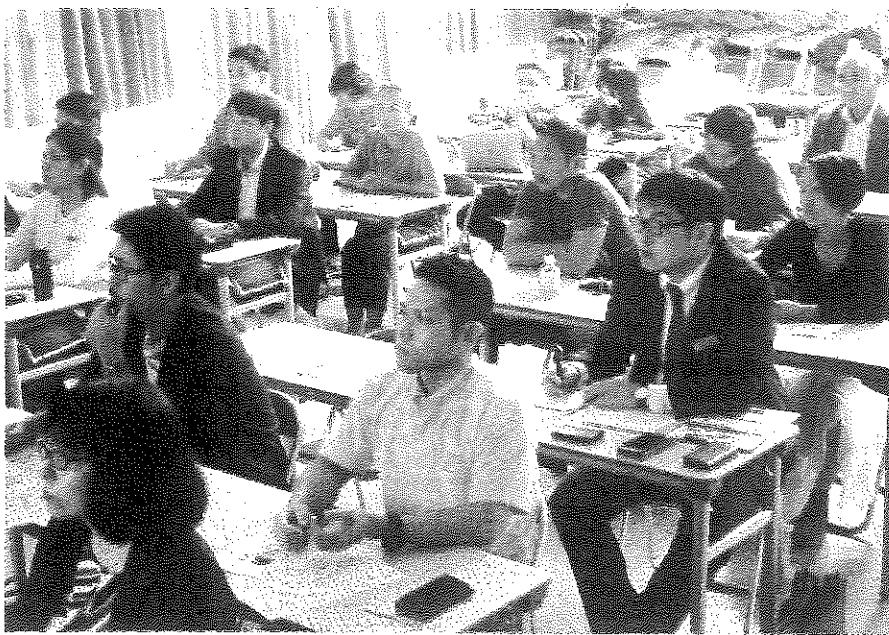
発行所 八重山日報社

〒907-0023 沖縄県石垣市字石垣486-1

NTT西日本 八重山ビル2階

電話:(0980)82-2403(代表)

<https://www.yaeyama-nippo.co.jp>



YVBデジマ説明会

## 「八重山。ポイント」構想も データで地域活性化



齐川满氏

電子メディアを活用して適切なプロモーション施策を行い、顧客データを可視化してマーケティングを行う「デジタルマーケティング」の説明会（主催・八重山ビジャターズビュートロー）が14日午後、石垣市商工会ホールで開催された。講師の㈱サイモンズ代表取締役

デジタルマーケティングの説明会の来場者ら（14日午後 市商工会ホール）

社長、齐川满氏は「地元活性化の戦略の上に観光戦略がある」とし、行政、観光協会、企業などの消費動向、顧客の行動動態が把握可能な「地域データベース」の構築・活用を提言した。

齐川社長は観光戦略の1つであるキャッシュレス化に触れ、「キャッシュレス化すれば地域が活性化するわけではない」と指摘

し、ポイントサービスを通じて地域特性を数値化し、各店舗や地域の活性化につなげる、同社提供の「持続可能な循環型地域活性化シ

ステム」の利点を紹介。QR決済、多言語通訳システムなどから集積した△消費動向△加盟店利用者数△男女、市内外、年代別△などのビッグデータを活用

し、「店舗グループ内外の消費者動向も分析でき、町全体のお客さんの動きを理解できる。店同士でのキャンペーンも可能」と強調した。群馬県みなかみ町の地域ポイント制度や宮城県気仙沼市の「気仙沼クルーカード」、ポイントの事例を挙げ、「QR決済や今年実施予定のマイナンバーのポイントなど、それらを八重山ポイントに変え、そのポイントを八重山のマインナンバーのポイントなど、それらを使える仕組みをつくりたい」と話した。说明会には行政、民間企業などから約30人が参加した。